

大洲市長 故 清水 裕 氏の在りし日をしのいで



3月30日に亡くなった清水裕市長の市葬が、4月19日(木)、大洲市民会館大ホールでしめやかに営まれました。市葬には、県知事をはじめ、県選出国會議員、県議會議員、県内各市町長、市民など約700人が参列し、故人との別れを惜しみました。

参列者全員で黙祷をささげた後、葬儀委員長の松田副市長が、「大洲市を愛し、大洲市の発展のために全身全霊をささげた市長のご遺志は、永久に消えることなく私たちの胸中に行き続けることでしょう。未来に希望と誇りを持つ大洲市を目指し、地域の発展のために一層努力することを誓います」と式辞を述べました。

続いて、中村時広ときひろ県知事、山本公一こういち衆議院議員らが弔辞を述べられました。また、故人の人柄や功績などを紹介する映像が流され、故人の在りし日をしのびました。遺族を代表して妻・恵子けいこさんが、「夫は、大洲市が発展していくことを何よりも楽しみにしていました。市民のみなさんに愛され、幸せな人生だったと思います」と謝辞を述べられました。



大洲市長 故清水 裕氏
大洲市葬を執り行いました
際には、多くの皆様方にご参列をいただきました
ことに厚くお礼申し上げます。

大洲市葬 葬儀委員長
大洲市副市長 松田 眞

第54回 新就職者激励大会

新就職者激励大会が4月20日(金)、リジエール大洲で開催され、新たに大洲市内の企業に就職した56人が出席しました。

主催者を代表して松田副市長は「初心を忘れず、何事にも挑戦して充実した人生を送ってほしい。向かい風が吹くときもあるが、周りには支えてくれる人がいる。その若さと感性を生かして力を発揮してほしい」とあいさつしました。

続いて社会人の先輩である、愛媛たいき農業協同組合の矢野俊輝さんが「若さと情熱を持って自己研さんに励み、楽しみながら自分の道を切り開いてほしい。輝かしい社会人としての活躍を期待して



いる」と激励のことばを述べました。

新就職者を代表して、株式会社伊予銀行の柴田穰さんと、仙味エキス株式会社の河村夏美さんが「将来に希望を持ち、社会人としての第一歩を踏み出した。自己啓発に努め、地域の文化を大切にしながら、温もりのある地域社会づくりに貢献したい」とお礼のことばを述べました。

その後、交流会が行われ、新就職者のみなさんは名刺を交換するなど、情報交換や新たな人脈づくりをしていました。また、新就職者による自己紹介では、それぞれが抱負や決意を発表しました。

願いを込めて 元気に泳げ

毎年5月3日に開催される「大川鯉のぼり祭」を盛り上げるため、鯉のぼり作りが4月24日(火)、地元の大成保育所で行われました。園児たちは、大川鯉のぼり川渡し実行委員会のみなさんに教わりながら、カラーテープやマジックを使い、オリジナルの鯉のぼりを楽しそうに作成していました。

今年で11回目を迎えた祭り当日、会場近くの河原では、「親子で稚アユ放流体験」が行われました。参加した親子は、バケツを手に笑顔で稚アユを川へ放しました。また、内子高



校郷土芸能部による和太鼓演奏も行われ、多くの人を楽しませていました。

今年も多くの来場者でにぎわう中、肱川に架かる約200匹の鯉のぼりは風を受けて元気に大空を泳いでいました。



大きく育ってね



肱川での豊漁とうかひの成功を願い、大洲市観光協会による稚アユの放流が、4月16日(月)、如法寺河原で行われました。

この日は晴天に恵まれ、肱川漁業協同組合の協力のもと、肱南保育所の児童13人が、「大きくなってね」とのかけ声とともに、稚アユを小さなバケツから川へ放しました。

この日放流された7～8cmの稚アユは、漁が解禁となる6月には20cm前後に成長するそうです。

今年も盛大に開催



沖浦観音春季大祭が、4月17日(火)、長浜町沖浦にある瑞龍寺すいりゆうじで開催されました。お寺に祭られている「木造十一面観音立像」は、平安期の作品とされ、大正元年に国の重要文化財に指定されました。大祭に併せて、立像も一般公開され、多くの人が一目見ようと参拝していました。

露店も多数立ち並び、餅まき・福まきや各種イベントが行われるなど、盛大に大祭が執り行われました。

花びらが舞う中で

八多喜観桜会が、4月13日(金)、八重桜の名所である祇園公園で開催され、市内の各種団体から約60人が参加しました。例年に比べ、一週間ほど早く開花したため、当日は新緑が目立つ部分もありました。

祇園公園には、約700本の八重桜が植えられていて、今年もピンクや白など美しい色で見物客を楽しませました。



古民家を観光資源として

町家・古民家などの歴史的資源を活用した観光まちづくりにおける連携協定の締結式が、4月5日(木)、大洲市役所で行われました。この協定は、地域経済の先導および活性化を図ることを目的に、大洲市と民間4事業者により結ばれました。

松田副市長は、「大洲市の歴史、文化を最大限に生かした観光まちづくりを、官民連携のもと推進していきたい」とあいさつしました。





昭和の日だけに開校される青空教室が、4月29日(日)、ポコペン横丁で開催されました。この青空教室は、昭和の良さを知ってもらおうと「大洲まぼろし探偵団本舗」が毎年開校しています。今年も、県内の小学生ら68人が参加し、理科の授業や昔ながらの給食などを楽しみました。

午前の部「さくら組」では35人が出席し、鐘の音を合図に朝の会、続いて親子そろってラジオ体操をしました。また、理科の授業では、自分の好きな色を選び、割り箸を

青空の下で昭和を体験
 (保湖辺小学校開校)



使った洗濯のりなどの材料をかき混ぜて作るスライムに挑戦しました。中には苦労した児童もいましたが、先生や友達の力を借りて、全員がカラフルなスライムを完成させました。

給食の時間では、昔なつかしいアルミ食器に盛られたコッペパンやコロツケ、カレースープをおいしそうに食べていました。

給食の後には遊びの時間が設けられ、ベーゴマやゴム銃など昭和の遊びを満喫しました。

高齢者叙勲



瑞宝双光章

飯野 一之 さん
 (田口)
 元公立小学校長

飯野さんは、長年にわたり教育業務にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。



瑞宝双光章

新穂 徳 さん
 (大洲)
 元公立小学校長

新穂さんは、長年にわたり教育業務にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

ゴールデンウィークは楽しい時間を過ごせましたか。富士山のツツジも満開になり、多くの観光客や帰省客が大洲を訪れました。各地でたくさんさんのイベントが開催され、楽しい時間が過ごせたのではないのでしょうか。青年部では、毎年、富士山観光売店の運営を行っています。来年もきれいなツツジが楽しみですね。

【今月のクイズ】

大川鯉のぼり祭では、たくさんさんの鯉のぼりが、空を泳ぎます。大川に架かる鯉のぼりは何匹いるのでしょうか。

- ① 約150匹
- ② 約200匹
- ③ 約250匹



【5月号のクイズ解答・解説編】

毎年行われている、大洲市新就職者激励大会は、大洲市で初めて就職した人を対象としています。新就職者全員が参加するわけはありませんが、平成29年度の新就職者激励大会の参加者は何人だったのでしょうか。

- ① 45人
- ② 74人
- ③ 107人

正解：②

平成29年度の新就職者は148人で、激励会に参加した人数は74人でした。平成30年度は何人の就職者がいたのか気になるところですね。



※今月号のクイズの答えは、広報おおよす7月号に掲載します。

野鳥

ツバメチドリ
(燕千鳥)
チドリ目ツバメチドリ科
全長 25cm



ツバメのような姿で、飛び回る変わったチドリの仲間です。チドリと言えば、足が長く酔っぱらって歩く姿を「千鳥足」と呼びますが、ツバメチドリはとても短い足をしています。このツバメチドリは、飛ぶことが得意で、空中で昆虫類を素早く捕らえるため、足は退化したように思われます。

どこに現れても珍鳥扱いされ、たくさんの愛鳥家が注目しています。私が南西諸島の生息地で観察したとき、大空を飛び交い農地に降りている野鳥全てが、ツバメチドリだったのを体験したことがあります。

都市化が進み、野生の生き物たちにとっては、住みよい環境とは言い難くなっています。はるばるやって来る珍客を、遠目で温かく見守りたいものです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑤

文化財

臥龍山荘 臥龍院・文庫
国指定重要文化財
(建造物)
大洲市所有



臥龍山荘は、「不老庵」が建築された後、明治37(1904)年に「棧瓦葺き寄棟造り二階建て土蔵の「文庫」、翌年に臥龍山荘の中心となる「臥龍院」が上棟しました。

臥龍院は、茅葺き寄棟造り平屋建ての主屋で、炊事場、浴室、便所が付属しています。一見農家を思わせるような素朴な外観ですが、内部には趣向の異なる「巻是」「清吹」「霞月」「始定」などの部屋を配置し、それぞれが選び抜かれた材料と熟練の技によって手の込んだ精緻な造りとなっています。これらの細部の造作には、千家の茶道具の職人(職人)である金物師や塗師などが関わりました。

臥龍山荘は、極めて独創的な数寄屋の意匠で、四国地方における近代の数寄屋建築の優品と評価されています。

(平成28年7月25日指定)